

【当社の日本国内産原料生薬の使用状況及び放射性物質に関する対応について】

当社では、日頃よりお客様に安全・安心な製品をお届けするために、トレーサビリティの明確な原料生薬確保への取り組みをはじめ、法令や各種の厳格な自主基準に基づく品質管理を実施し、安全性を担保した優良で高い品質の製品の製造に努めております。

今回、平成23年10月14日付けで発出されました「放射性物質に係る漢方生薬製剤の取扱いについて」(薬食監麻発1014第1号)に関連し、当社の日本国内産原料生薬の使用状況および放射性物質に関する対応を、下記のとおりご報告させていただきます。なお、今回自社製造品の状況を調査いたしました結果、全く問題ない事を確認いたしました。

当社では、今後ともご安心頂ける製品の製造と品質管理に努めて参りますので、変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

記

<現状について>

- 2011年3月11日以降に日本国内で産出された原料生薬は使用しておりません。
- 原料生薬の加工・保管及びこれらを原料とした製品の製造は、当社工場所在地の愛知県で行っております。当地(愛知県)の原水について、愛知県が実施している放射能測定において放射性ヨウ素及び放射性セシウムの検出はなく、当地の水への放射能の影響はありません。また、当地(愛知県)で実施している空間放射線量率(ガンマ線)測定値は以下のとおりであり、放射能の影響は受けておりません(2011年10月16日現在)。

(単位:マイクロシーベルト/時)

測定期間	最低値	最高値	平均値
2011年3月10日~10月16日	0.038	0.057	0.040
(参考)2009年度	0.036	0.061	0.040

以上のことから、当社が製造した製品において、国内産原料や製造過程による放射能汚染の心配はございません。

<今後の対応について>

今後購入する国内産生薬については、国から出される予定のガイドラインに従って安全性の確認が得られた原料のみを購入し、使用するようにいたします。

また、引き続き関係する国の指導やガイドラインに従って放射性物質に関する対応を行い、試験の拡充などを含め原料や製品の安全性確保に努めてまいります。

以上